

## “スコッチ”印 耐熱ファインラインテープ No.2757 / No.4733 / No.4734

1. 概要: 耐熱性の良好なゴム系粘着剤を、異なった特性の基材に均一に塗布した車両塗装用見切りテープです。各々の特性を活かし、目的・部位・用途に適したテープをお使いいただくことができます。

2. 構造 & 物理特性:

項目	単位	#2757	#4733	#4734	一般の塩ビ <sup>®</sup>
基材	—	ナイロン	ポリエステル	ポリエステル	塩ビ <sup>®</sup>
基材厚み	mm	0.050	0.038	0.025	
色	—	白	青	青	
粘着剤	—	ゴム系	ゴム系	ゴム系	
*総厚み	mm	0.075	0.063	0.050	0.120
*粘着力	N/cm	2.55	3.14	2.74	
降伏点強度	N/cm	15.5	41.3	25.8	16.5
降伏時の伸び	%	9	4	4	5
実用の伸び	%	20	4	4	30
耐熱条件	—	150°C × 20分 × 2サイクル			

これらの値は測定値であり、規格・保証値ではありません。

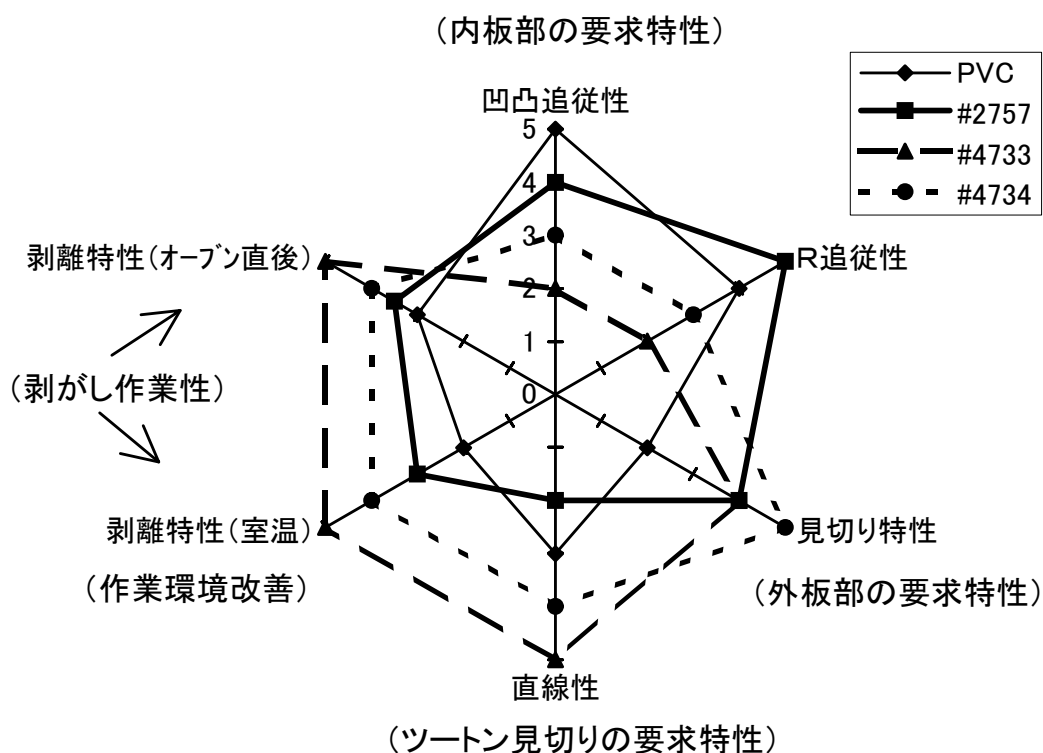
\*印の測定はJIS-Z-0237に準拠しております。

注1: 実用の伸び→テープの基材に縦ジワが入らないまでの伸び

注2: 耐熱条件は粘着剤の耐熱条件です。

3. 特長	有利点	効果
基材に可塑剤を含まず 塗料焼き付け後の 基材の変質が少ない	基材強度の低下が 少なく切れにくい	ボディが冷えてからでもテープ剥離が容易 1) 作業環境の改善 2) ムダ時間の低減
テープ総厚が薄い	塗膜厚よりテープが薄い	見切り性が良い 1) 手直しの低減
特殊背面処理剤	塗料との密着特性	剥がし時の塗料落ちが少ない 1) 手直し作業の低減 2) 作業環境の改善
基材材質に特色がある	目的別にテープの選択が可能	テープを効果的に使用することが可能 1) 品質の改善 2) 生産性の向上 3) 作業環境の改善 4) 材料コストの低減

#### 4. 特性の比較



#### 5. 注意事項

- a) 150°Cを超える条件で使用する場合は塗料の種類または色調により色移りが発生する場合があります。
- b) テープ剥離時のテープ背面の塗料剥がれは、塗料によってボディー温度が30°C以下に下がると発生する場合があります。ボディー温度を30°C以上に保つことをお勧めします。
- c) テープの貼り跡については、塗料の種類・テープを剥がすタイミングにより発生する場合があります。
- d) 耐熱性とは粘着剤・基材の耐熱特性を示したもので、糊残り特性と異なる場合があります。

→ご使用になられる前に、実塗料での確認をお勧めします。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。